

7.30 6名の仲間を激励・奪還しよう

日刊 勤労千葉

81.7.29
No. 805

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五ノ六（公衆）〇三三三（宅）七二〇七

7月30日、13時、千葉市・宝導寺台公園 千葉刑包囲・抗議闘争に結集せよ

全組合員のみなさん。7月15日の不当逮捕以降、六名の仲間は猛暑の中で連日、八、九時間にもおよび苛酷な取り調べ、自白強要に屈せず、全員ゆるぎない正義と真実に立ちきり、完全黙秘を貫き叩いている。千葉地検および地裁は、この六名の不撓不屈の叩いに対し、7月31日で切れる勾留期間をさらに延長しようとする策動し、さらに四名の仲間へも理不尽な逮捕攻撃を策動している。

動労千葉闘争委員会は、このような動労「本部」反動分子と完全に結託した権力の組織破壊策動に一大痛打を浴びせ、六名の仲間の早期釈放をかちとるべく、千葉刑包囲・抗議闘争を取り組むことを決定した。

権力と一体の土屋耕、斉藤吉

7月14日、18日、箱根で開催された第37回全国大会で、裏切者・土屋耕は「山下委員長以下暴力に悩んでいる」。また斉藤吉は「6.12糾弾決議を行うべきである。嶋田は大会に参加できずにベッドでうなっている」と、全くテトラメな発言を行っている。津山大会に至る数限りない暴

力や、動労千葉独立の過程での「本部」反動分子の暴力を金でつられてはあかひりし、容認する土屋や斉藤吉であるからこそ、このようなテトラメが言えるのだ。7月15日の権力による不当逮捕に拍手を送り、自らも権力と一体であることを内外に明らかにした7月16日の第37回動労全国大会での「決議」なるものは、動労史上の一大汚点であり、動労内外の戦

争的・良心的労働者から大きく糾弾されている。千葉内の「本部」派組合員は、当然にも、この向のわれわれの正しい鋭い追及の前に、この文字通り嶋田・斉藤ら草マル反動分子が仕組んで引きまわしてきた「コロビ」「テック上げ」「告訴」「逮捕要請・弾圧賛美」のあまりに反動的、反労働者の路線に動揺とキレツを深めている。六名の仲間を奪還し、このようなテ

トラメな土屋、斉藤吉等に痛打を浴せしめるものとして、7月30日の大結集をかちとるのではないか。

7.30大結集をもっと

早期奪還をかちとろう

7月23日、勾留理由明示公判に大結集した動労千葉の叩いによって、千葉地裁は、地検が請求した「10日間の勾留延長請求」を退け、「5日間」にせざるを得なかったためであり、にもかかわらず更に5日間の勾留延長を再び策動する地裁・地裁を大衆的怒りで包囲し六名の仲間を早期奪還するために決起することは六名の仲間に対するわれわれの義務でもある。全組合員のみなさん。

7月15日以降、孤独に耐え、猛暑に耐え、職場の仲間——動労千葉を信頼して完然と叩いぬいている六名の仲間に、真に一体化した叩いを創り出さなくてはならない。六名の仲間の早期釈放へ向けて、できることは何でもやろうではないか。

7月30日、13時、千葉市・宝導寺台公園へ、最大限結集をかちとろう。

(7.30闘争会場案内図)

国鉄千葉駅前より京成バス6番のりば「千城台車庫行」乗車「対ガ」協会前」にて下車、徒歩3分。

